

地域と学生が繋がる未来創造フォーラム 2025 報告書

1. フォーラム概要

名称：地域と学生が繋がる未来創造フォーラム 2025

開催日時：2025 年 12 月 7 日 10 時から 15 時

会場：島根県浜田市/島根県立大学浜田キャンパス講堂・カフェテリア

主催：地域と学生が繋がる未来創造フォーラム 2025 実行委員会

後援・協力：浜田市、浜田市教育委員会、公益財団法人ふるさと島根定住財団、山陰中央新報社、中国新聞社、TSK さんいん中央テレビ、BSS 山陰放送、石見ケーブルビジョン、エフエム山陰、島根日日新聞社、島根県立大学、はまだ協働学舎ファンタス、共同通信社松江支局、みんなでつくる中国山地、新日本海新聞社、日本海テレビ

参加者数：約 100 名

本フォーラムは、島根県立大学を卒業した人が「浜田に戻りたい」と思ったときに、安心して戻れる環境やきっかけをつくることを目的に開催しました。

2. 開催背景・目的

島根県立大学卒業後に浜田へ戻りたいと考えた際に、気軽に立ち寄れる場所や相談できる場が少なく、他大学で実施されているようなホームカミングデーのような仕組みも十分に整っていない。そのため、地域とのつながりを持ち続けたいと願う卒業生であっても、帰郷のきっかけをつかみにくい状況がある。本フォーラムの目的は、島根県立大学を卒業した人が「浜田に戻りたい」と思ったときに、安心して戻れる環境やきっかけをつくることである。そのためには、「帰りたい」と思う学生と、「帰ってきてほしい」と願う地域の思いが重なり合い、互いを理解し合える関係づくりが欠かせない。そこで本フォーラムでは、その第一歩として、学生・卒業生・地域の人々が一堂に会し、お互いの人柄や価値観、これまでの経験、そして描いている未来について語り合う場を創出した。肩書きや活動実績だけでなく、「なぜこの大学に進学したのか」「どんな経験をし、何を学んだのか」「これからどんな生き方をしたいのか」といった一人ひとりの生き方に焦点を当てることで、立場を超えて『人』として向き合える関係づくりを目指した。本フォーラムを通して、学生は地域に帰りたいと思えるきっかけを得て、地域の人々は学生を応援し、また会いたいと感じる関係性を育むことを目的とした。

3. プログラム内容

(1) オープニング

主催者挨拶、市長挨拶、学長挨拶およびフォーラム開催の趣旨説明

(2) 現役生発表

大学入学前から今後の将来まで自分の思いを話していただいた。また、地域づくりの現場での取り組みや課題、そこから得た学びについても発表が行われた。

(3) 卒業生/ゲスト発表

島根県立大学の卒業生などによる実践報告を実施した。大学卒業後の進路や地域での仕事、浜田での暮らしについて紹介し、在校生へのメッセージが送られた。

(4) リアルタイム質問コーナー

参加者からの質問を受け付け、登壇者との双方向の意見交換を行った。

(5) 交流・ディスカッション

参加者が少人数グループに分かれ、「卒業しても帰ってきたくなる浜田をつくるには」をテーマに意見交換を行った。学生・卒業生・地域関係者が立場を超えて対話し、地域課題の共有や今後の協働の可能性について議論を深めた。

4. 参加者の声（参加者アンケートより）

アンケート回収数：67件

① 各プログラムの満足度（5段階評価）

第一部（学生・OBOG発表）：平均 4.56

第二部（ディスカッション）：平均 4.59

フォーラム全体の満足度：平均 4.67

→ いずれも高評価で、特に「全体満足度」が最も高い結果となった。

② 参加者の主な声

(1) 良かった点・評価の声

「学生と地域の人が同じ目線で話せたのが新鮮だった」

「登壇者の話がきれいごとではなく、リアルで共感できた」

「自分の将来と地域との関係を初めて真剣に考える機会になった」

「普段は聞けないOBOGの経験談がとても参考になった」

「堅いフォーラムかと思ったが、雰囲気が柔らかく参加しやすかった」

「一方的に聞くイベントではなく、参加している実感があった」

「同世代だけでなく、社会人の考えも聞けて視野が広がった」

(2) 心に残ったコメント

「地域と関わること＝Uターンだけじゃないと気づけた」

「今は住んでいなくても、関係人口として関われると思った」

「将来、地元に戻るか迷っていたが、前向きに考えられるようになった」

「“応援してくれる大人がいる”と感じられたのが一番嬉しかった」

「学生の挑戦を地域が支える形が理想だと感じた」

「浜田（地域）の良さを改めて実感した」

「同じ思いを持つ人がこんなにいるとは思わなかった」

(3) 今後の参加意向

「今後、同じようなイベントがあれば参加したいですか？」

→ 回答者 67 名全員が「はい」

この結果から、本フォーラムが参加者にとって価値ある機会であったことが明確に示された。

(4) 改善点・今後への提案

アンケートやリアルタイム質問から、以下の改善点が挙げられた。

「質問コーナーをさらに拡充してほしい」

「座談会形式の時間をもっと長く取りたい」

「継続開催・シリーズ化への期待」

5. 成果と今後の展望

成果

- 学生と地域関係者の新たなネットワーク形成
- 複数の地域連携プロジェクトの構想が誕生
- 継続的な協働に向けた意向確認

今後の展望

- 定期的なフォーラム（形は問わない）の開催
- 学生と地域住民が気軽に話すことの出来る場の提供
- 実行委員会の組織化

6. まとめ

本フォーラムは、地域と学生が対等な形で出会い、共に未来を描く場となった。今後も本フォーラムを起点に、地域と学生が継続的に関わり合う仕組みづくりを推進していく。

以上をもって、「地域と学生が繋がる未来創造フォーラム 2025」の報告とする。

(作成日：2026 年 1 月 24 日)

(作成者：実行委員会代表 中野一天)

\\ 地域と学生がつながる \\ 未来創造フォーラム2025 in 浜田

参加費
無料



「おかえり。」
「ただいま。」から
つないでいく、
広がる人の輪。

——— 地域の人、現役学生、卒業生が集い、交流する、新たなつながりが生まれる一日 ———

日時 2025.12.7 日 受付開始 9:30 開演 10:00-15:00 終了 会場 鳥根県立大学浜田キャンパス 講堂・カフェテリア 鳥根県浜田市野原町2433-2

主催 地域と学生が繋がる未来創造フォーラム2025in浜田実行委員会
【事務局】☎080-6338-1709(代表:中野) ✉chiiki.gakusei.mirai.forum@gmail.com

協力 はまだ協働学舎ファンタス

後援 浜田市/浜田市教育委員会/公益財団法人ふるさと鳥根定住財団/山陰中央新報社/中国新聞社/
TSKさんいん中央テレビ/BSS山陰放送/石見ケーブルビジョン/エフエム山陰/鳥根日日新聞社/
鳥根県立大学/共同通信社松江支局/みんなてつくる中国山地/新日本海新聞社/日本海テレビ

▼参加申込フォーム▼

詳細内容も
コチラから
見れるよ!





















